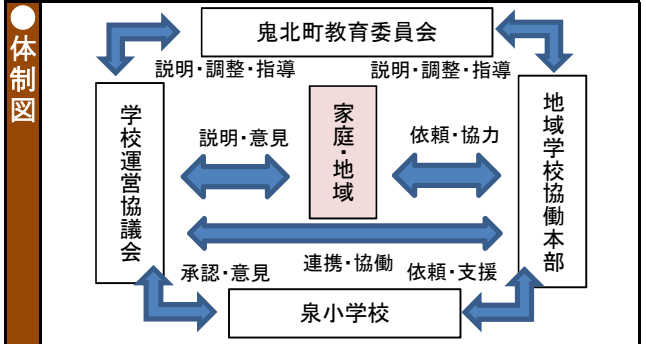


# 地域とともにある学校づくりを目指して

愛媛県鬼北町		●活動名 泉小学校区地域学校協働本部				●関係する学校名 鬼北町立泉小学校			
協働活動開始年度	平成 28 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	6 学級	のべ児童・生徒数	39 人		
活動区分	学校支援活動		—		地域人材育成		—		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		—		地域学校協働活動推進員等の数		1人		
	指定・設置日		ボランティアの数		延べ登録人数		企業・NPO等との連携		有
学校運営協議会	平成28年4月1日設置		—		34人		—		有
参考URL	<a href="https://izumi-e.esnet.ed.jp">https://izumi-e.esnet.ed.jp</a>								
●連絡先	鬼北町教育委員会 教育課 文化スポーツ係				☎ 0895-45-1111				



●活動の経緯  
泉小学校は、平成28年度にコミュニティ・スクールに指定され、同時に学校支援地域本部(現在の地域学校協働本部)を導入した。以来、この2つの仕組みを学校経営の柱として「地域とともにある学校づくり」を進めている。

●活動の概要  
○学校支援活動・・・児童の登下校の見守り活動、古代米栽培活動の支援、ぶどう栽培の支援、鬼北文楽クラブ・茶道クラブの支援、生活科・社会科見学の支援、環境整備活動  
○地域人材育成・・・泉地区に保存継承されている人形浄瑠璃「鬼北文楽」や手漉き和紙「泉貨紙」の探究・体験学習支援

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①古代米栽培活動支援：泉地区には縄文時代と弥生時代の遺跡があり、それにちなんで毎年6年生が中心となって、古代米の一種である黒米と赤米を学校横の水田で栽培している。毎年、もみを育てるところから始めて、田植え、稲刈り等の一連の作業を支援している。なお、関連学習として遺跡の現地見学も行い、町教育委員会学芸員からの説明も受けている。
- ②鬼北文楽クラブ支援：鬼北文楽は泉地区で伝承されている人形浄瑠璃である。泉小学校には鬼北文楽クラブがあり、毎回の活動日には、鬼北文楽保存会のメンバーが指導や助言等を行っている。その成果は、毎年11月に開催される、学校と地域合同の「学芸会・遺跡まつり」で披露するとともに、校区内の高齢者施設との交流活動も行っている。

### 【実施に当たっての工夫】

鬼北町教育委員会では、地域コーディネーターを泉小学校に配置している。このことにより、学校と地域・関係団体等との連絡・調整がたいへん円滑に行われている。地域コーディネーターは、学校側からの、見学や活動、講師を招く依頼などを受け、担当者と打ち合わせを行い、交渉や調整を行うとともに、当日及び事後の対応、広報活動なども行っている。また、地域からの支援や協力に関するコーディネートも行っている。このことにより、学校教職員は、より一層教育活動に専念できるようになっている。なお、毎回の学校運営協議会にも出席し、泉小学校の学校運営協議会と地域学校協働本部の連携・協働の機能の向上に努めている。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ①事業の導入により、学校の授業等でのゲストティーチャーの活用や地域との連携・協働が円滑に行えるようになった。
- ②学校と地域のつながりが一層深まるとともに、体験活動や地域の人たちとの交流を通して、児童が地域のよさを実感できていると感じる。
- ③地域で保存継承されている貴重な伝統文化について、実際にそこに携わっている人々と接することで、その価値を認識するとともに、その人たちの思いに気付きつつある。
- ④地域にとって学校がより近い存在になり、主体的・自主的に学校に協力しようとする人たちが増えてきた。

## ●その他

平成29年度から「放課後子ども教室」を開設した。今年度は28名の児童が登録している。全校児童は39名なので約70%の児童の登録である。この「放課後子ども教室」では約20名の地域の人たちがサポーターとなり、輪番で児童の学習等を支援している。サポーターの多くは地域学校協働活動でも活動されている方々であり、情報共有を図りながら地域学校協働活動との連携を模索している。



おえ地にぎりに秋の方をいたは稲刈り。古代米の収穫祭です。田植え



ブ存泉地区に残る「人形浄瑠璃保存会」の方から伝授。クハラ